

# しいたがりやの こりす



レイチェル・リヴェット 作 ●  
ドゥブラヴァ・コラノヴィッチ 絵  
くらとみ ちずこ 訳



「偉大な神祕」への賛美と感謝をこめて。 R.R.

世界中の子どもたちひとりひとりが安心して、幸せに生きていけますように。 D.K.

**LITTLE GREY AND THE GREAT MYSTERY**  
by Rachel Rivett Dabravka Kolanovic

Text copyright © 2006 Rachel Rivett.  
Illustrations copyright © 2006 Dabravka Kolanovic.  
Original edition published in English under the title  
Little Grey and the Great Mystery by Lion Hudson plc, Oxford, England.  
Copyright © Lion Hudson plc 2006.

Japanese translation published by arrangement  
with Lion Hudson plc, Oxford, England  
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo

Published 2008 in Japan by Joshi-Paiko-kai,  
Japanese edition copyright © Chizuko Kuratomi

しりたがりやの こりす

作/レイチェル・リヴェット  
絵/ドゥブラヴカ・コラノヴィッチ  
訳/くらとみ ちずこ

発行所/女子パウロ会 代表者/浅井剛子

〒107-0052 東京都港区赤坂6-12-42

Tel. (03) 3479-3943 Fax (03) 3479-3944

Web サイト <http://www.pauline.or.jp/>

印刷所/精興社

初版発行/2008年4月25日

Printed in Japan

ISBN978-4-7986-0646-2 C8798

NDCT26・5 26P 27cm

# しりたがりやの こりす

レイチェル・リヴェット 作  
ドゥブラヴカ・コラノヴィッチ 絵  
くらとみ ちずこ 訳



女子パウロ会

まるくなって ねむっていた こりすの グレイが  
ぐーんと のびをして めを さました。

「ねえ おばあちゃん、

かみさまって なあに？

このせかい ぜんぶを つくったんでしょ？」

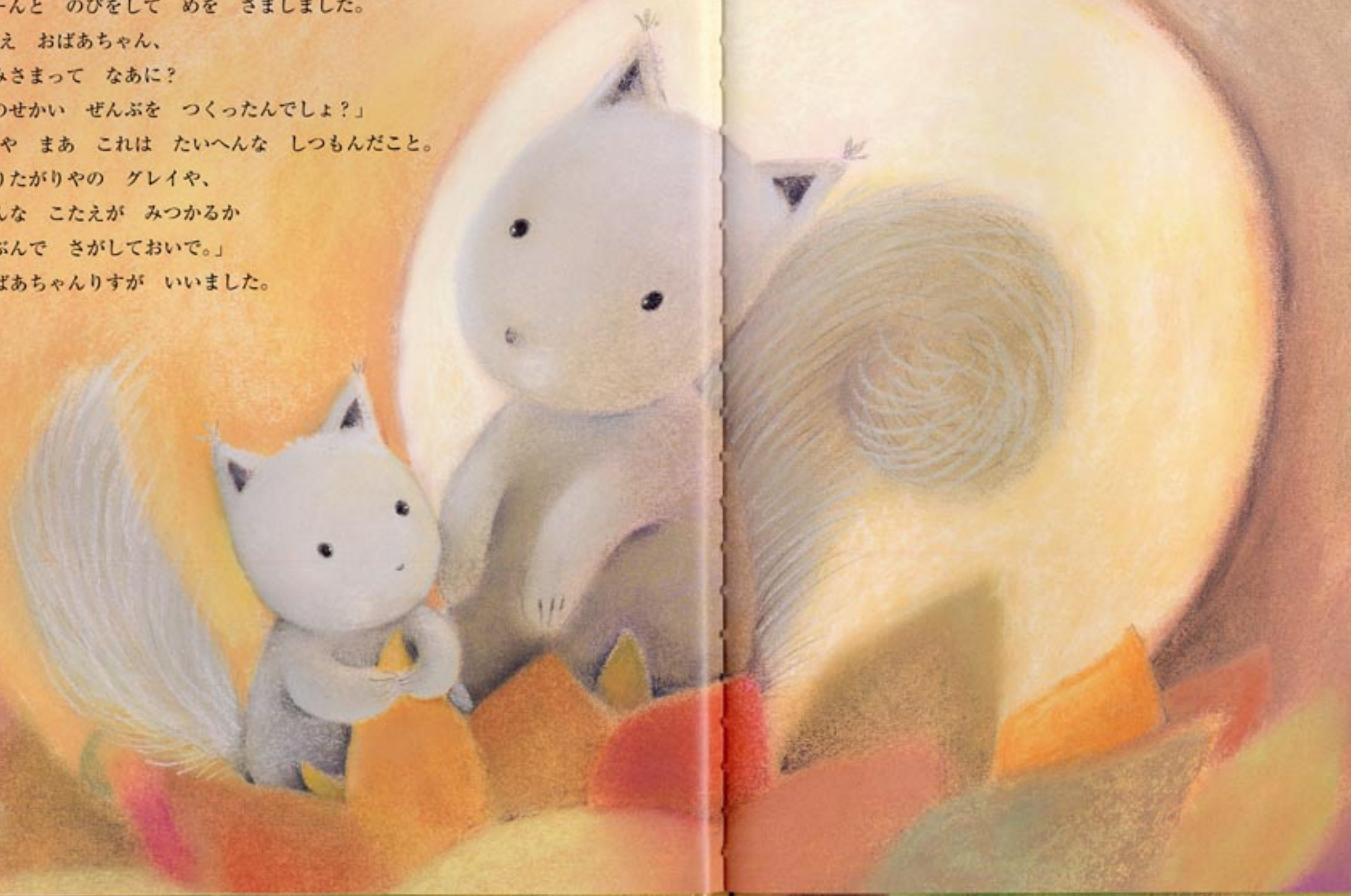
「おや まあ これは たいへんな しつもんだこと。

しりたがりやの グレイや、

どんな こたえが みつかるか

じぶんで さがしておいで。」

おばあちゃんりすが いいました。



こりすの グレイが えだを つたって はしっていくと、  
からすたちが くるーり くるり とんでいるのが 見えました。

「おーい からすの おねえさん、おしえて。

かみさまって なあに？」

すると からすが いちわ まいおりてきて いいました。

「それはね、だいすきな かぜのようなもの。

とんでいるあいだ ちゃんと つかまえていてくれるのよ。

かぜが いっしょだと ほんとうに あんしん。」

からすの おねえさんは ひとこえ 「かーあ」と ないて  
とんでいってしまいました。

グレイは、みえない かぜに  
のって あそぶ からすたちを  
ながいこと ながめていました。

「ありがとーう！」



こりすの グレイが すばやく きを かけおりに かわまで くと  
ちょうど おひさまが のぼってきました。

グレイは ばしゃばしゃ かおを あらってから ききました。

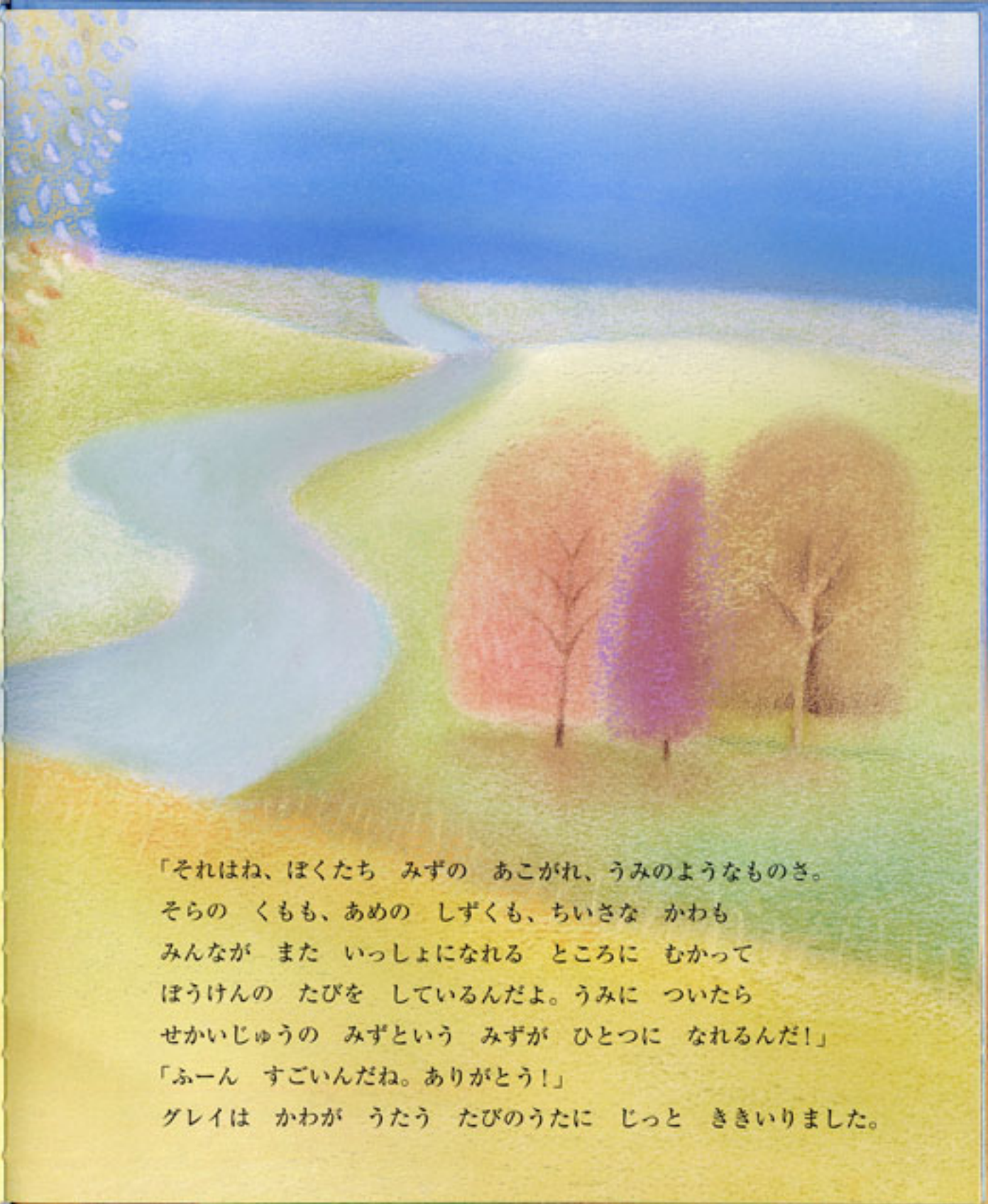
「ねえ かわの おにいさん、おしえて。

かみさまって なあに？」

かわは いわの あいだを いきおいよく ながれていきながら

こたえて いました。





「それはね、ほくたち みずの あこがれ、うみのようなものさ。  
そらの くもも、あめの しずくも、ちいさな かわも  
みんなが また いっしょになれる ところに むかって  
ほうけんの たびを しているんだよ。うみに ついたら  
せかいじゅうの みずという みずが ひとつに なるんだ!」  
「ふーん すごいんだね。ありがとう!」  
グレイは かわが うたう たびのうたに じっと ききいりました。

それから やっと こりすの グレイは、  
ぶなの はやしで あそぶ ともだちの なかまいる。  
みんなと きのみを あつめて いっぱい あそびました。  
ゆうがたになると「また あしたね」と しっぽを ふって  
じぶんの おうちが ある  
おおきな ぶなのきへと かえりました。

